

軍事演習発表までの経緯

蔡総統とマッカーシー下院議長の会談後の中国の反応

- ◆現地時間4月5日午前（日本時間6日未明）に、米ロサンゼルス郊外で行われた蔡総統とマッカーシー下院議長の会談を受けた中国側の反応は以下のとおり。
 - 4月6日、中国外交部報道官は「米台の結託という著しく誤った行為に対し、中国側は断固たる強力な措置を講じて国の主権と領土の一体性を守っていく。」と表明。
 - 同日、中国国防部報道官は「中国人民解放軍は職責・使命を堅守し、常に高度な警戒を維持し、国の主権と領土一体性を断固守り、台湾海峡の平和と安定を断固守る」と表明。
 - 同日、中国共産党中央台湾工作弁公室報道官は、「『台独』（台湾独立）分裂勢力およびその行為には断固たる措置を講じて懲戒し、国の主権と領土の一体性を断固擁護していく」と表明。
- ◆昨年8月ペロシ下院議長（当時）の訪台時に見られた「中国軍は絶対に座視することはない、必ずや強い措置を講じる」「火遊びをすれば必ず自ら焼かれる」といった表現は見られず。

軍事演習の発表

- ◆ 4月8日、中国軍東部戦区報道官は、4月8日から10日までの間、中国人民解放軍東部戦区が、計画に基づき、台湾海峡及び台湾島の北部、南部、台湾島以東の空海域において、台湾島を囲む戦備警戒パトロール及び「連合利剣」演習を実施する、と発表。また、同報道官は本訓練について、「『台湾独立』分離主義勢力が外部勢力と結託して挑発することに対する重大な警告であり、国家の主権と領土の一体性を守るために必要な行動である」と説明。



蔡総統とマッカーシー議長の間談の様子



蔡総統とマッカーシー議長による共同談話発表の様子

中国の台湾周辺における軍事演習について

資料源: 各種報道、統幕発表等

- 4月8日、中国軍東部戦区報道官は、4月8日から10日までの間、中国人民解放軍東部戦区が、計画に基づき、台湾海峡及び台湾島の北部、南部、台湾島以東の空海域において、台湾島を囲む戦備警戒パトロール及び「連合利剣」演習を実施する、と発表。また、同報道官は本訓練について、「「台湾独立」分離主義勢力が外部勢力と結託して挑発することに対する重大な警告であり、国家の主権と領土の一体性を守るために必要な行動である」と説明。
- 中国側は、8日の演習・訓練は、参加部隊が全方位から台湾を囲む威嚇・制圧の態勢を作り上げた」と説明。
- 9日には、複数の軍種による台湾及びその周辺に対する模擬統合精密攻撃訓練の実施等を発表。
- 10日には、統合封鎖及び情報・火力打撃の模擬的な実施や空母「山東」の演習への参加を発表。同日午後、東部戦区は、「連合利剣」演習の各任務を滞りなく達成した旨公表。

中国側が公表した画像



ジャンカイII級フリゲートとみられる艦艇

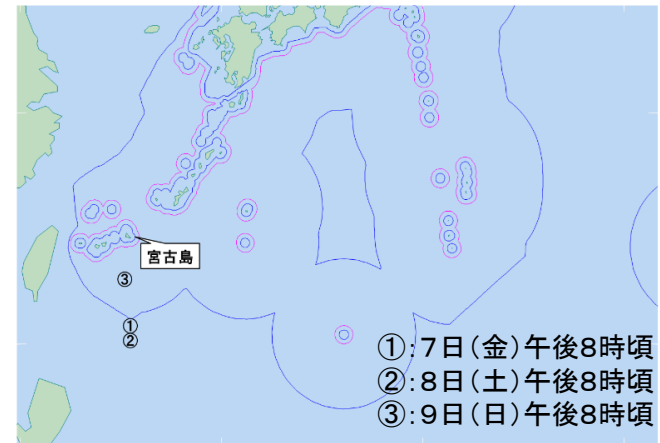


戦闘機とみられる航空機



空母「山東」から発艦しているとみられる航空機

空母「山東」等の動向



- 海上自衛隊は、4月7日(金)から9日(日)にかけて、空母「山東」、駆逐艦、フリゲート艦、戦闘支援艦が、上図のとおり太平洋上の海域において航行していることを確認。
- 当該期間に、空母「山東」の艦載戦闘機によるもの約80回及び艦載ヘリによるもの約40回、計約120回の発着艦を確認。

【参考】2022年8月4日の中国によるミサイル発射について

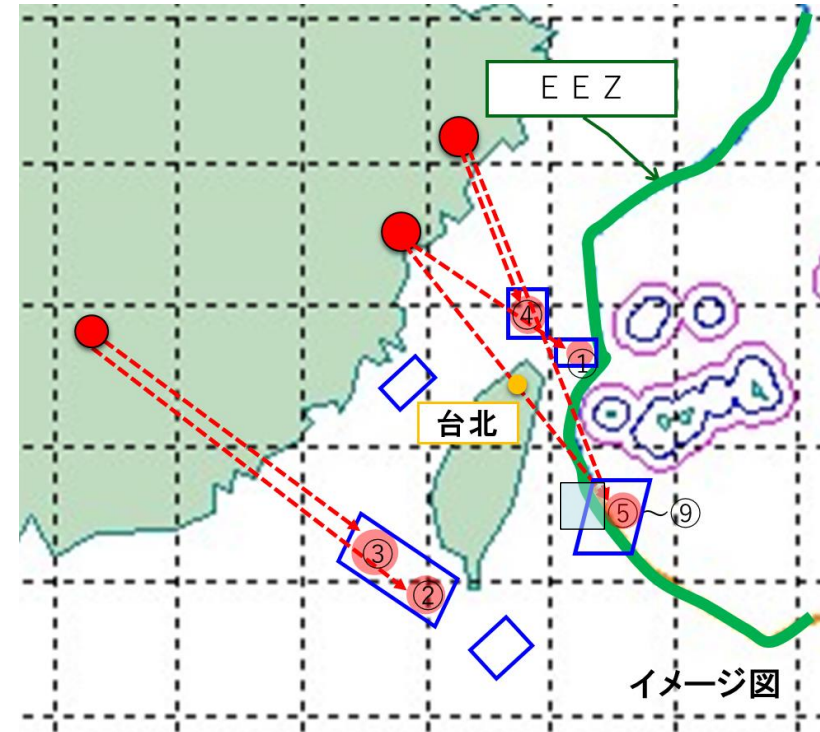
発射概要

1. 中国は、8月4日15時頃から16時過ぎにかけて**9発の弾道ミサイルを発射した模様**。そのうち**5発が我が国の排他的経済水域（EEZ）内に着弾したものと推定**。詳細以下のとおり。

- ① 14時56分頃、福建省沿岸から発射し、約350km程度飛翔。
(与那国島(沖縄県)の北北西約80km(EEZ外))
- ② 14時56分頃、中国内陸部から発射し、約700km程度飛翔。
(確認中(EEZ外))
- ③ 15時14分頃、中国内陸部から発射し、約550km程度飛翔。
(確認中(EEZ外))
- ④ 15時57分頃、浙江省沿岸から発射し、約350km程度飛翔。
(確認中(EEZ外))
- ⑤ 15時57分頃、浙江省沿岸から発射し、約650km程度飛翔。
(波照間島(沖縄県)の南西110km(EEZ内))
- ⑥ 16時05分頃、福建省沿岸から発射し、約500km程度飛翔。
(与那国島(沖縄県)の南約120km(EEZ内))
- ⑦ 16時05分頃、福建省沿岸から発射し、約550km程度飛翔。
(波照間島(沖縄県)の南西140km(EEZ内))
- ⑧ 16時08分頃、福建省沿岸から発射し、約500km程度飛翔。
(波照間島(沖縄県)の南西140km(EEZ内))
- ⑨ 16時08分頃、福建省沿岸から発射し、約550km程度飛翔。
(与那国島(沖縄県)の南約120km(EEZ内))

2. ①については、中国が公表していた与那国島の北北西に設定されている訓練海域内の我が国EEZ外に、⑤から⑨については、中国が公表していた波照間島の南西に設定されている訓練海域内の我が国EEZ内に着弾したものと推定。さらに、⑥から⑨については、台湾本島上空を飛翔したものと推定。

3. なお、②及び③については、中国が公表していた台湾南西に設定されている訓練海域に、④については、中国が公表していた台湾北部に設定されている訓練海域に着弾したものと推定。



- ◆ 我が国EEZを含む我が国の近海に設定された訓練海域に弾道ミサイルが着弾しており、我が国の安全保障及び国民の安全に関わる重大な問題であり、強く非難。また、中国に対して外交ルートを通じて、抗議を実施。
- ◆ 防衛省・自衛隊としては、引き続き、情報の収集・分析や警戒監視等に全力をあげてまいる。

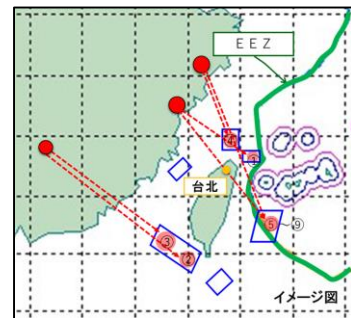
【参考】ペロシ米下院議長訪台を巡る緊張の高まり

- ◆ 令和4年7月下旬、米国のペロシ下院議長の訪台予定が報じられると、中国は強硬な表現を用いて強く反発。
 - 7月26日、中国国防部報道官は、「米国側が（訪台を）独断専行すれば、**中国軍は絶対に座視することはなく、必ずや強い措置を講じて**すべての外部勢力の干渉と『台湾独立』分裂の企みを打ち砕く」と表明。
 - 7月29日、米中首脳電話会談において、習近平国家主席は、台湾情勢について、「**火遊びをすれば必ず自ら焼かれる**」と米側を牽制。
 - 8月1日、東部戦区は、公式微博（ミニブログ）上において、弾道ミサイル発射、着上陸訓練を含む映像を公開。



【8月2日以降】

- ◆ 8月2日夜、アジア歴訪中の**ペロシ下院議長が台湾を訪問**。3日に蔡英文総統等と面会し、「**米国は台湾との約束を破棄しないと伝えたい**」等と発言。
- ◆ 8月2日夜、中国は、8月4日から7日までの間、重要軍事演習の実施や実弾射撃の実施を目的として、**台湾周辺を取り囲む6つの訓練海域の設定を発表**。



中国が発射した弾道ミサイルの航跡イメージ



【8月4日以降】

- ◆ 東部戦区ロケット軍部隊は、台湾東部の所定の海域に、複数エリア・複数タイプの**通常ミサイル突撃**を8月4日午後実施と発表。東部戦区陸軍部隊は、台湾海峡に対し**長距離多連装ロケット砲の実弾射撃訓練**を実施と発表。

※中国は8月4日15時頃から16時過ぎにかけて9発の弾道ミサイルを発射、そのうち5発が我が国の排他的経済水域（EEZ）内に着弾したと推定。

- ◆ 8月4日から9日にかけて、東部戦区は、**台湾周辺海空域で統合封鎖、模擬対地攻撃、対海上攻撃等の実戦化統合訓練**を実施した旨発表。
- ◆ 8月10日、東部戦区は、台湾島周辺の海空域で各軍兵種部隊を組織して実施してきた一連の統合軍事行動は、**各任務を成功裏に達成し、部隊を一体化した統合作戦能力を有効に検証した**と表明。また、台湾海峡方面の**戦備巡視を常態的に行う**と発表。



中国が公表したミサイル発射映像



陸軍部隊の多連装ロケットシステムによるロケット弾発射

※写真は中国軍SNS掲載のもの